

都城商業高校とデジタル化に係る連携協定を締結します！

本市は、「都城デジタル化推進宣言 2.0」に沿いデジタル化を進めています。

また、都城商業高校においても、令和4年度入学制より学科改編を行い、デジタル技術であるデータサイエンスの基礎や人工知能（AI）の活用技術等の新たな学びに取り組むこととなっています。

このことから、地域デジタル人材の育成や地域社会のデジタル化支援等を目的として、連携協定を締結します。

- 日時 令和3年10月1日（金） 15時～（15分程度）
- 場所 都城市役所4階秘書広報課前会議室
- 出席者 都城商業高校 田代晃一 校長
都城市 池田宜永 市長
- 内容 ①地域デジタル人材の育成
②マイナンバーカード普及促進
③地域社会のデジタル化支援
④オープンデータの活用
⑤その他、甲と乙の協議の結果に基づき実施する事業

市と高等学校がデジタル化に係る連携協定を結ぶ事例は非常に珍しく、市全体でデジタル化を推進していく本市ならではの取り組みです。

※全国的に見ても、他の同様の事例を把握していません

●取組具体例

10月10日のデジタルの日前後に、生徒の祖父母からスマートフォンやインターネットなどデジタルツールについての困り感をヒアリングし、テキストデータ化します。その後、データを自然言語処理AIツールで分析・抽出し、対応策の検討を行います。

【問い合わせ】 デジタル統括課 DX担当 電話 23-2156